

# 主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・R1年度)

① 基本事項	計画コード	事業名		部名	産業建設部	
	17005	西野公園改修事業(公園施設)		課名	土木課 施設保全G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:都市づくりの推進			款	08:土木費
	施策の方向	04:公園・緑地の整備・利活用			項	04:都市計画費
戦略プロジェクト	01:「健都さぷり」プロジェクト		目		02:公園管理費	
事業予定期間	H 29 ~ R 1 年度	主な根拠法令要綱等				

② 目的・概要	対象	公園利用者
	目的	三重県で開催が予定されている平成30年度の全国高等学校総合体育大会(インターハイ)及び令和3年の第76回国民体育大会(三重とわか国体)に向けて、西野公園施設の改修を行い、円滑な大会運営ができる環境を整備するとともに、公園利用者の利便性の向上を図る。
概要	西野公園施設…東屋、自転車駐輪場、植栽、案内看板、便所、下水道の改修工事	

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東屋(ダックアウト)改修工事</li> <li>○自転車駐輪場改修工事(2箇所)</li> <li>○植栽植替え工事(体育館前)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○便所・下水道工事設計業務委託</li> <li>○案内看板改修工事(2箇所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共下水道接続工事(L=278m)</li> <li>○便所改修工事(N=2箇所)</li> <li>○便所・下水道工事監理業務委託</li> </ul>	
	年度実績	東屋・自転車駐輪場改修工事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○便所・下水道工事設計業務委託</li> <li>○案内看板改修工事(2箇所)</li> </ul>		
事業費	計画額	事業費	7,000千円	6,400千円	51,200千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	5,296千円	3,600千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
決算額	事業費 ①	4,593千円	3,510千円		
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
人件費	一般財源	7,000千円	6,400千円	51,200千円	
	事業費	5,296千円	3,600千円	0千円	
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
総人件費 ②	総人件費 ②	384千円	778千円		
	一般職員	384千円	778千円		
	所要人員	0.05	0.10		
	臨時職員等	0千円	0千円		
	総コスト(①+②)	4,977千円	4,288千円		
受益者負担率	0.0%	0.0%			

				平成29年度	平成30年度	令和元年度
④ 指標	①	名称 東屋(ダックアウト)改修工事 進捗率	活動	計画値	100	
			実績値	100		
			単位	%		
	②	名称 案内看板改修工事 進捗率	活動	計画値		100
			実績値		100	
			単位		%	
	③	名称 公共下水道接続工事 進捗率	活動	計画値		100
			実績値			
			単位		%	

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 交付金事業である公園施設長寿命化計画策定事業における事業採択可能な改修施設を選定して、財源確保に努める。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 事業採択可能な改修施設の選定を行った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 下水道工事設計業務委託の業務委託と案内看板改修工事(2箇所)が順調に完了できた。また、三重とこわか国体開催に向け、西野公園にある2箇所の便所建替設計業務委託においては明るくて、清潔感がある、バリアフリー対応便所を計画することができた。	A  計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 西野公園の運動施設管理者・下水道事業者と協議を重ね、次年度以降の工事発注に反映できる便所・下水道工事設計業務が実施でき、三重とこわか国体の円滑な大会運営ができる環境整備の推進につながった。	A  十分な成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 西野公園内の既存施設の老朽化が著しくなっているため、公園施設の利便性に配慮した整備を計画的に行う必要がある。また、当事業で活用している社会資本整備総合交付金の配当率が、次年度以降に不明確なところがあり、年々減少傾向になると想定される。	今後の方向性  <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 国の補正又は制度改正等、情報をいち早く収集し財源確保に努めている。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 より迅速な修繕を実施することで西野公園利用者の利便性が向上する。	
対応時期		交付金内示決定時及び補正予算時	

【1次評価者】	産業建設部 土木課 施設保全グループリーダー 宮崎 伸二
【最終評価者】	産業建設部 土木課長 服部 政徳

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	A			
	成果	B	A			